

あとがき

編集顧問

越智隆弘
小野啓郎
竹光義治
守屋秀繁
山室隆夫
矢部 裕

編集委員

糸満盛憲
荻野利彦
菊地臣一
黒坂昌弘
清水克時
高岸憲二
富田勝郎
戸山芳昭
吉川秀樹

編集同人

井形高明
生田義和
井樋栄二
岩田 久
岩本幸英
大井利夫
小野村敏信
加藤博之
金田清志
黒川高秀
腰野富久
紺野慎一
柿田喜三郎
酒 匂 崇
桜井 実

澤村誠志
杉岡洋一
田辺剛造
田畑四郎
玉置哲也
中村耕三
馬場久敏
浜西千秋
廣谷速人
佛淵孝夫
三笠元彦
三浦隆行
持田讓治
山田治基
吉川靖三

アメリカの話で恐縮ですが、アメリカの大統領がブッシュ氏からオバマ氏に代わってだいぶ経ちました。リーダーが代わって大きく政治が変化するのではないかと見て見ていた私たちにわかるような大きな変化はまだ起きていないようにみえます。しかし、種々の問題に対する反応は早く、多くの問題への対応が少しずつ変化しているのが報道を通じて伝わってきます。国内では、総理大臣の失言や、問題に向かう姿勢の不確定さなどが取りざたされ、支持率が低下してきているようです。対する野党も献金問題などで揺れて、問題解決にはいまだ時間がかかる印象を持っているのは私だけではないように思います。

あとがきを書くことになり、掲載論文を読ませていただきました。プレート骨接合術で、従来型か locking compression plate かの誌上シンポジウムは興味深いものです。プレートと螺子の間がしっかり固定されているものの他に、ある程度の自由度を持って螺子の方向を決めた後にプレートと螺子の間が固定される便利なシステムもあります。Locking plate が開発された時、これで多くの問題が解決すると思った人は少なくないと思います。いまだ使ったことのない先生方もおられるでしょうし、従来型がよいと思っている方もおられると思います。万能な骨接合器具は残念ながらありません。Locking plate にも欠点があり、使っていると不都合な面もありますし、予想しなかった合併症が出たりすることもあります。本シンポジウムはそのような疑問に答えてくれていると思います。緒言で糸満盛憲先生が書かれているように『どのようなプレートを使うかではなく、どのように使うか』が大切である点は、その他の整形外科手術にも共通する大切な点ではないかと思えます。

話が変わりますが、3月15日に米スペースシャトル「ディスカバリー」で国際宇宙ステーションに行った若田光一さんは3カ月滞留在しています。無重力状態で引き起こされる骨粗鬆症に対する薬剤の効果を調べる実験もすることが報道されていました。無重力状態を体験できる人はほとんどいないのではないかと思います。骨粗鬆症は大きな問題です。種々の問題を引き起こし私たちの生活や健康に影響を与えます。本号にもリウマチに対してステロイドを用いた場合の骨粗鬆症に関する論述、骨粗鬆症による椎体骨折に対する装具療法の論文、反射性交感神経性ジストロフィーに対してビスホスホネートが著効を示した症例報告など骨粗鬆症に関する論文が多いことがわかります。高齢者が増加するこれからの社会で整形外科医にとっても骨粗鬆症が避けて通ることができない問題であることを示しているように思われます。

その他、極めて稀な『膝窩翼状片症候群の症例報告』など読み応えのある論文が掲載されています。私の不勉強かもしれませんが、知らないことがたくさん書かれています。医者は何歳になっても勉強をしなければいけないのだと改めて思う次第です。

(荻野利彦)

臨床整形外科 (第44巻第5号)

2009年5月25日発行(毎月1回25日発行)

定価 2,520 円(本体 2,400 円+税 5%)

(2009年ぎめ予約購読料 29,400 円, Medical Finder
パーソナルオプション付 38,300 円(配送料弊社負担))

E-mail rinseige@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/rinseige>

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 編集室直通 (03)3817-5702(担当:石井・山崎)

販売部直通 (03)3817-5659・5660

ファクシミリ (03)3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 (株)アイワード 電話 (011)241-9341

広告申込所 (株)医薬広告社 電話 (03)3814-1971

・Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo © 2009, Printed in Japan.

・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

・JCLS (株)日本著作出版権管理システム委託出版物)

本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の承諾を得てください。